

平成29年10月2日



第113号



あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校

タブレットを小脇にかかえ

校長 福田 晴一

先月、文部科学省から「タブレット活用」についての、教育視察がありました。

一年生が学習支援ソフトでグループ毎に「見つけた虫」を手書き文字で先生に送信。後に先生から配信された虫の写真について気がついたことを書き込み返信…と双方向の学習が展開されていました。四年生は、情報モラルでパスワードについて意見交換。「パスワードはどこで使用されているか」の先生の発問に、一人一台タブレットだからこそ個々の学びが集約されました。自転車や家の鍵、銀行や郵便受けの暗証番号等々。スマホのパスワードについては「指紋認証、顔認証」と生体認証が話題に上がるほど、子ども達の生活にセキュリティーが入り込んでいることに驚かされました。五年生は、理科「人の命」の単元。胎内の赤ちゃんについての課題を調べて、自己解決し発表していました。胎内の赤ちゃんの排泄を分かりやすくスライドショーで説明する姿は、天沼小学校の高学年の学習スタイルの基本となっています。スライドプレゼンも説明発表も、経験と共に高まりを感じます。音楽の授業でもタブレットを活用し、楽器が奏でられなくとも、リズムアンサンブルを友達と楽しんでいました。文部科学省の視察の方々も、全国多くの学校を視察されていますが、タブレットの日常化に驚いていました。私達が毎日見慣れている光景「高学年児童が教科書とタブレットを両手に持って教室移動する姿」は、視察の方々にとってとても斬新に映ったようです。

天沼小学校では、ICTは未来への投資と捉えています。勿論、学習の基盤をなす「読み・書き・計算」のリテラシーを大切にしつつも、ICTを活用してこそ習

得できる情報活用能力、情報編集、情報発信能力の必要性を痛感しています。科学技術の進歩は止められませんし、予測不可能と言われる次世代を生き抜くには、コンピュータをはじめとするICT機器との共生社会は間違いなく到来いたします。そんな次世代、豊かな生活を送るには、プログラミング体験から生まれる論理的思考が後押しすると考えています。また、様々な情報が飛び交う次世代、安心安全な生活を送るにはデジタルネイティブと呼ばれる児童期からの情報モラルも必要と考えています。現に、一学期末に実施しました「情報モラルに関するアンケート」結果から、「タブレットやスマホの使用経験」が一番高いのは一年生でした。まさに、就学前の家庭生活の中で、タブレットやスマホを使用している背景が推察されます。この傾向は、年々増加することも容易に予測できます。

学校は、社会の要請に応じた資質・能力を児童生徒に身に付けさせ輩出する使命があります。予測不可能な社会と言われる次世代の要請は、果してどのようなものなのでしょうか。少なくとも、従来の教育環境から産まれる資質・能力だけでは満たされないことは言明できます。天沼小学校は、学校内外の豊かな人的リソース、未来への投資である物的リソースを最大限活用しまして、次世代をたくましく生き抜く児童の育成に、今後も挑戦してまいりますので、その進捗を厳しくも温かくご支援いただきたいと思います。

タブレットを持って教室移動する高学年児童の姿に、明るい未来が映ります。

*** 今月の目標 ***

生活

進んで仕事に励みましょう

保健

目を大切にしましょう

給食

食後の過ごし方を工夫しましょう



10月の行事予定



日	曜	行事予定
1	日	都民の日
2	月	全校朝会・学芸会係活動①・読書週間始・いのちの教育月間
3	火	読書・ハピスタ・理科出前授業6
4	水	特時B
5	木	読書・プラネタリウム6こ
6	金	読書・小児生活習慣病予防検診4+希望者
7	土	
8	日	
9	月	体育の日
10	火	読書・ハピスタ・理科出前授業6
11	水	読書 56・4時間+学芸会係活動②
12	木	読書・特別支援連合運動会
13	金	読書・4時間・特支連合運動会予備日・読書週間終
14	土	
15	日	杉並親と子で楽しくフェスティバル
16	月	全校朝会・安全指導・委員会⑥
17	火	かけ足 146・ハピスタ
18	水	読書・4時間+会場準備 56
19	木	集会(音楽)・学芸会リハーサル
20	金	学芸会(児童鑑賞日)
21	土	学芸会(保護者鑑賞日)・4時間・給食あり・片付け 5
22	日	選挙
23	月	振替休業日
24	火	かけ足 235・自転車安全利用講習会4・避難訓練(二次避難)・ハピスタ
25	水	読書 14 こ・茶道 5・フォローアップ
26	木	集会・理科出前授業 5・自転車予備
27	金	かけ足 146・生活科見学 2(予備日 11/15)
28	土	杉並ウェルネスDAY長縄グランプリ
29	日	
30	月	健康朝会・クラブ活動⑧
31	火	特時B・三分区連合運動会 6(※延期なら 11/2 も特時Bです)

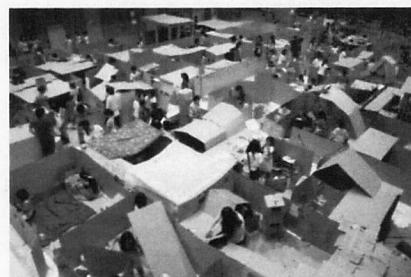
学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまめまワンダラーズ)の活動を紹介します

土曜日学校あまめまハッピーさたでい

9月16日～17日にあまめまおやじの会 Presents「わくわく★お泊まりキャンプ」を行いました。

ダンボールハウスづくり、銭湯体験、さまざまな工夫で子どもたちと盛り上がったお楽しみ夜イベント、「おやし仕込み」の夕食や朝食に、3年生から6年生まで195人の児童が参加しました。台風の進路が心配される中、96人の保護者サポーターや教職員の皆さまが運営を支えてくださり、子どもたちは安全で楽しく過ごすことができました。サポートしてくださった皆さま、ありがとうございました。また、おやじの会の皆さま、子どもたちのために幾度もミーティングを重ね、楽しい企画をありがとうございました。



学校運営協議会コーナー

～サマワークショップ2017ご報告～

毎年夏休みの終わりに、天沼小学校を支える人々(保護者、教職員、地域)が集まり、天沼小の教育課題についてカフェスタイルでフラットに話し合う機会となっています。

今回のテーマは「子どもたちが社会でよりよく生きるために、私たちができること」。約70人の参加者が、子どもたちがよりよく生きるために必要な力を育むために、自ら何をすべきかを考えました。

「心の体力をつけるために尽力したい」という教員、「子どもの良いところを見つけ、言葉で伝えることで気づきを与えたい」という保護者、「子どもを受け入れ、認める」という地域参加者。

天沼小学校の子どもたちの成長のために、各々

がすべきことを確認する時間となりました。

天沼小学校は、保護者、教職員、地域が一体の「チーム」となって、子どもたちのより良い将来のために、主体的に関わっていく学校であると実感できる時間でした。

(学校運営協議会委員 井上 尚子)



～2017杉並区「特定の課題に対する調査」の結果と考察～

《各教科平均正答率(%)》

(3年以上・理科は45年のみ)

平均正答率		杉並区	本校
国語	教科全体	56.5	59.2
	基礎	64.2	66.7
	応用	44.2	47.2
	学ぼう力	話す・聞く	73.3
		書く	40.9
		読む	57.0
	学んだ力	言語	58.8
算数	教科全体	63.1	64.7
	基礎	73.5	75.2
	応用	41.0	42.3
	学ぼう力	数学的思考方	44.5
		技能	74.3
理科	学んだ力	知識・理解	74.5
	教科全体	64.9	65.3
	基礎	71.3	71.4
	応用	49.9	51.1
	学ぼう力	思考・表現	52.3
		技能	67.7
理科	学んだ力	知識・理解	74.1
	学んだ力	知識・理解	74.9

《読書習慣》

	杉並区	本校
1ヵ月に読む本の平均(冊)	10.9	10.4

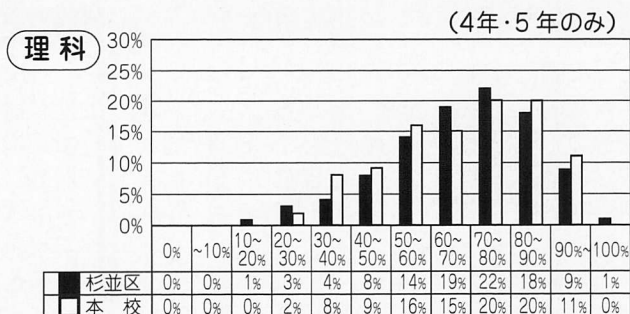
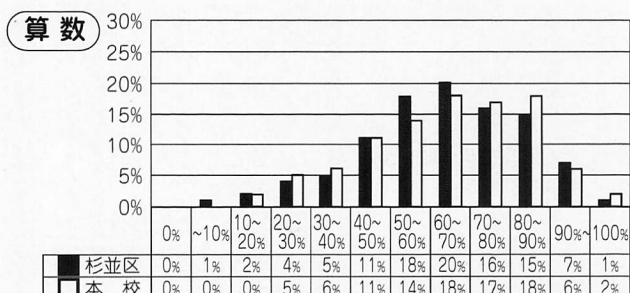
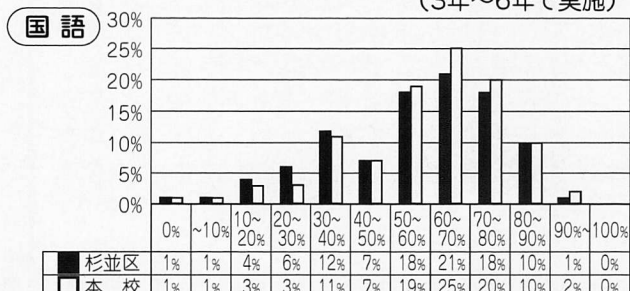
国語・算数・理科ともに、杉並区全体よりも本校の平均正答率がやや高いことがわかります。学年別に正答率を調べると、学年が上がるにつれて『特定の内容でつまずきのある児童』『学び残しが多い児童』の割合が多くなっています。これは、学習内容が高度になることにも起因していますが、これまでの学習の積み重ね(基礎知識)の上に立った応用力が要求されていることと相まって、基礎知識の定着に課題があるとみて取れます。

そこで、国語の改善策としては、読書や音読を通じて正確に文章を読み取る技術の向上や語彙の定着を図り、継続して行う漢字や言葉の小テスト等を通じて、学んだことを忘れない工夫を重ねていきます。算数の改善策としては、引き続き基礎・基本となる計算力の向上に力を入れていきます。また、タブレットのドリル学習への取り組み方の

《正答率分布状況》

杉並区 ■ 本校 □

(3年～6年で実施)



工夫・プリントを利用したミニテストを授業の中で取り入れるなど、効果的な反復学習を授業の中に取り入れていきます。

火曜日の「ハッピースタディ」や水曜日の「フォローアップ」、夏季休業中の「天沼夏季講座」、朝の「朝勉強タイム」など、授業時間以外で、繰り返し練習する場や理解の手助けの場を設けることで、参加する児童は力を伸ばしてきています。

とはいえ、児童の学校での生活は、学習だけでなく(生きていくうえで大切な力を育てる)様々な行事や仕事、交友と時間に追われての生活であることは否めません。家庭での毎日の継続した学習(宿題)が、大きな力に繋がることは間違いありません。ご家庭の、地域の皆様の協力を仰ぎながら、児童の学力向上に努めていければと思います。ご理解のうえご協力よろしくお願いします。

学芸会



スローガン「晴れ舞台 スターになれる その瞬間」



1ねん

1年生は、「やんすけとやんすけとやんすけと」を演じます。むかしむかしの山奥の村にごんすけという木こりがいました。ある日、けがをしたきつねを助けるとそのお礼に、きつねからふしぎな壺をもらいました。その壺は、何かを入れると、なんとなんと…。この先は、どうぞ、楽しんでご覧ください。初めての学芸会を99人の1年生が、はりきって演じます。大きな声で、ひとりひとりが自分の役割を精一杯表現します。どうぞ、応援お願いいたします。

2ねん

「ひらけー、ごま」のおまじないの言葉で開くどうくつの中には、金銀財宝がたくさん。大勢のとうぞくがどうくつに出入りするのを見たアリババは、自分もその言葉をためしてみます。ちょっとこわくて、ちょっとおかしなとうぞくたちと、アリババ、召使のモルジアナとの対決が見所です。学校で一番人数の多い2年生。運動会のエイサーに続き、「みんなの心を一つに」をめあてに、一人一人が精いっぱい自分の役を演じます。みんながスター!ご期待ください。

3ねん

3年生は、「王様とおとぼけ村」です。ある日、村に「戦争をすることになったので、あさってまでに賢くて丈夫な若者を集めよ。」という王様からの命令が来しました。村人たちは、知恵を集めて力を合わせ、王様にその命令を取り下げさせようとしします。さてその方法とは?

話し方や動き方など、豊かな表現になるよう工夫しながら練習しました。おとぼけ村で起きたお話を、3年生みんなで伸び伸びと演じます。

4ねん

4年生が演じるのは「冒険者たち」です。町ネズミのガンバと仲間のネズミたちは、勇気をふりしぼって夢見が島へ渡る…イタチと戦う島ネズミを助けるために。一人ではできないことも、一人ひとりの力と知恵を合わせれば、きっと成しとげられる。物語のメッセージと同じように自分を信じ工夫したり、友だちと高め合ったりしながら、4年生81人で劇を創り上げていきます。子どもたちの自信と成長の舞台をお楽しみに。

5ねん

「人間になりたいがった猫」
「人間になりたい」と願う猫のライオネル。魔法の力で2日間だけ人間の姿になり、冒険の旅が始まります。様々な人と出会い、ライオネルは初めての恋、そして仲間の暖かさ、命の大切さに気付きます。

104人全員が、役になりきり、魔法が彩る夢のようなファンタジーの世界を表現します。

6ねん

6年生は劇団四季で上演されている「魔法をすてたマジヨリン」を演じます。マジヨリンという小学生の魔女が、悪い魔女になるための試験を行うのですが、人間の温かい心に触れたことで次第に心境の変化があらわれ最終的には…。続きは本番を楽しみにしてください。6年生84名は最後の学芸会ということもあり、オーディションから気合いを入れて取り組んでいます。クライマックスの魔女VS村人は会場の皆様の歌声が必要なので是非、ご協力お願いいたします。

こどもたち

グリム童話でお馴染みの「ブレーメンの音楽隊」をこだま学級バージョンで演じます。ロバ、犬、ねこ、羊、さる、にわたりの動物たちは、音楽隊に入ろうとブレーメンの町を目指します。旅の途中で、どろぼうたちを見つくと、懲らしめようと知恵を絞

ります。ビックリしたどろぼうたちは大騒ぎ。この後どうなるのかは、見てのお楽しみです。

子どもたちは、好きな楽器を演奏したり、得意技を披露したりします。13人みんなで力を合わせて、のびのびと演じます。

移動教室特集

5ねん 富士移動教室

「富士学園さらに団結しあえる
学年に成長しよう」

9月6日～8日まで富士学園移動教室に行ってきました。初日は自分たちで作ったほうとうを食べ、湧水の里水族館で学習をした後、富士学園へと向かいました。夜はキャンプファイヤーです。クラスごとにダンスを行い、仲を深めました。2日目は高座山登山です。きつい山道を登るのに苦労した子もいましたが友達同士励

まし合い、支え合いながら全員で登頂することができました。仲間と3日間寝食を共にし、様々な体験を経て、一回りも二回りも成長して帰ってくることができました。子ども達の表情は、達成感と充実感に溢れました。5年生の団結を一層強め、さらに成長していく姿に期待してください。

